

一般質問通告書

受領日時 令和6年 6月 3日 午前・午後10時15分 6番 氏名 石川 重光

質問項目	質問の要旨
1 朝市について	<p>(1) かつては出店者が朝市通りの両側に隙間なく立ち並び、買い物客も通りを埋めつくす程の人が行き来し、おおいに賑わいをみせていた五城目朝市、今は出店者も買い物客も少なく大きく様変わりしている。町民からは、このまま出店者が減少すると朝市がなくなってしまうという切実な声があがっている。この現状をどのように受け止めているか。平日の出店店舗数は。</p> <p>(2) 出店者の負担軽減や出店しやすい環境づくりのひとつとして、定市場設置条例で定められている使用間口1メートルあたりの使用料の見直しが必要。また、朝市36回出店者に対する五城目朝市報償事業について、出店意欲をさらに高めるため報償内容を拡充すべきと思うが。</p> <p>(3) 広く町民から朝市に関心を持ってもらうため、五城目朝市のイベントや出店者の横顔、自慢の商品などを紹介した「朝市コーナー」を毎月広報「ごじょうめ」に掲載し、PRに努めたらどうか。</p> <p>(4) 朝市振興に向けた多くの提言、意見を踏まえ、町がこれまで出店者確保のために取り組んだ施策とその成果は。</p> <p>(5) 定市場設置者である町には設置者として歴史ある朝市を継続させるという使命があると思う。その責任をどのように受け止め果たしていくのか。</p>

<p>2 水害について</p>	<p>(1) 馬場目川下流部(本町部付近)における堆積土砂の撤去について、五城目橋付近ほか所々に堆積土砂が見受けられる。洪水の大きな要因のひとつと考えられる堆積土砂、土砂の撤去を一刻も早く行い、町民の不安を解消することが重要と考えるがどうか。実施の時期など知らせて欲しい。</p> <p>(2) 堆積土砂撤去後も定期的(例：5年に1回)に伐木、洲ざらいなどを行い、大雨による洪水に備えることが重要と考えるが町の考えは。</p> <p>(3) 東磯ノ目町内、馬場目川右岸に設置されている都市下水路水門だが、今年の記録的大雨により都市下水路水門より馬場目川の水位が上昇し、都市下水路に流れ込み逆流により磯ノ目地区の被害を大きくした要因の一つと考えられる。災害時の都市下水路水門の管理について、内水氾濫と馬場目川からの逆流を防ぐという適切な対策を早期に示して欲しい。</p>
-----------------	--